

感染症発生状況

令和7年4月9日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年3月31日（月）～4月4日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 239名 【職員】 10名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 48名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

- 【園児】 症状別：熱（95名）、咳・鼻水（53名）、下痢・腹痛（31名）、嘔気・嘔吐（23名）
疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（74名）、胃腸炎（11名）、流行性角結膜炎（6名）
溶連菌感染症（5名）
- 【職員】 症状別：熱（5名）、下痢・腹痛（5名）、嘔気・嘔吐（1名）
疾病別：なし

**新しい年度で集団行事が増える時期です。インフルエンザの再流行が懸念されます。
皆さん咳エチケットを守って生活しましょう**

【症状別の発生状況】

- 伝染性紅斑（リンゴ病） 厨川地区、盛南地区、都南地区で増加しました。
河北地区、河南地区で減少しました。
- 胃腸炎 河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。
河南地区で減少しました。
- 流行性角結膜炎 都南地区で増加しました。
- 溶連菌感染症 河南地区、盛南地区で増加しました。都南地区で減少しました。

【県の状況（3/24～3/30）】

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。百日咳の報告が8例ありました。百日咳は今年に入って全国的に増加しています。県内も同様で、現時点で昨年一年間の患者数を上回っています。かぜ様の症状と激しい咳が見られます。1歳未満の乳児では重症化し死亡することもあります。飛沫感染、接触感染のため、予防にはワクチンのほかマスクの着用、手洗いの励行が有効です。海外で麻しんの流行が報告されています。国内でも輸入事例のほか、渡航歴のない人の感染も確認されています。麻しんは空気感染します。手洗いやマスクのみでは予防できないため、ワクチン接種が有効です。

感染性胃腸炎の定点当たり患者数は8.38人でした。ノロウイルス、ロタウイルス等による集団発生事例が、盛岡市内の教育保育施設で3件発生しました。体調管理、石けんを使ったこまめな手洗い等、引き続き感染予防対策をしてください。インフルエンザは増加し、定点当たり患者数は3.39人でした。特に奥州地区で多い状況です。これから学校は入学式・始業式のシーズンなので、今後の増加が懸念されます。手洗いや咳エチケット等、基本的な感染予防対策をしてください。症状がある場合はマスクを着用のうえ、早めに受診しましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】